

BUSINESS REPORT

株主の皆様へ



三井金属

証券コード:5706

2017

特集: マテリアルの知恵を活かす

秋冬号

Vol.3

リサイクル製錬

第93期上半期報告書

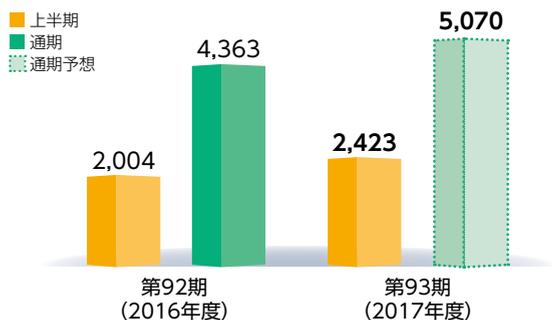
2017年4月1日 ◆ 2017年9月30日



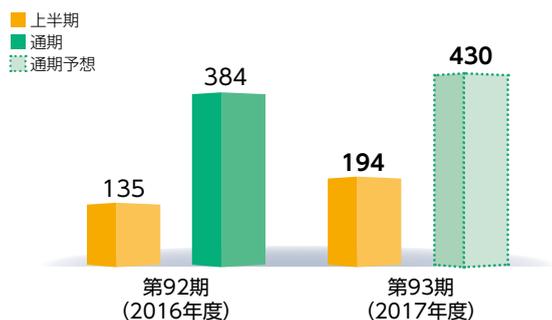


Financial Highlights 財務ハイライト (第93期上半期)

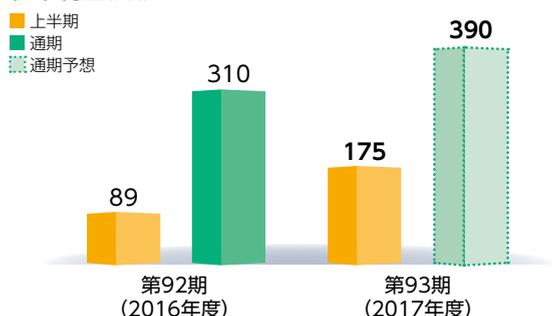
売上高 (億円)



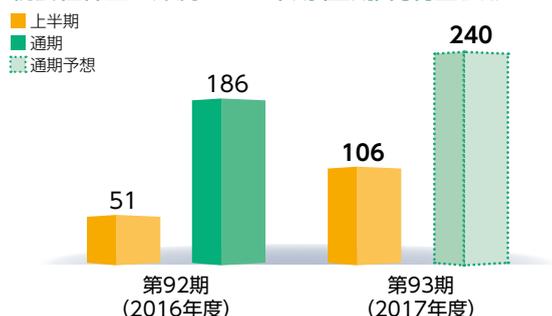
営業利益 (億円)



経常利益 (億円)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (億円)



(注) 通期予想につきましては、2017年11月10日現在において入手可能な情報に基づき作成したものでありますので、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

セグメント別業績の概況



機能材料

◆ 当上半期のポイント

キャリア付極薄銅箔、ITOターゲット*および四輪車向け排ガス浄化触媒等の需要が堅調に推移したこと等から売上高は増加。経常利益は、主要製品の販売量が増加したこと等から増加。

*酸化インジウムとスズの化合物。導電性を持ちながら高い透明度を有し、主に薄型テレビ、スマートフォンの液晶ディスプレイ等の電極に用いられる。

売上高

806 億円

(前年同期比14.2%増)

経常利益

139 億円

(前年同期比133.5%増)

29.7%



金属

◆ 当上半期のポイント

亜鉛・鉛のLME(ロンドン金属取引所)価格が上昇したこと等から売上高は増加。経常利益は、LME価格は上昇したものの、亜鉛製錬設備の大規模定期修繕工事、エネルギーコストの上昇等の影響により減少。

売上高

822 億円

(前年同期比38.8%増)

経常利益

0 億円

(前年同期比96.0%減)



関連

◆ 当上半期のポイント

各種産業プラントエンジニアリング事業においては、国内グループ企業の水力発電設備の工事、大規模定期修繕工事等が進捗。加えて、非鉄金属相場の上昇および一部製品の販売量が増加したこと等から売上高、経常利益ともに増加。

売上高

599 億円

(前年同期比21.7%増)

経常利益

27 億円

(前年同期比96.4%増)

22.0%



自動車部品

◆ 当上半期のポイント

自動車用ドアロックの国内市場は回復の兆しが見られるものの、中国市場の伸びが鈍化し、米国市場は低調に推移したこと等から売上高、経常利益ともに減少。

売上高

492 億円

(前年同期比9.9%減)

経常利益

22 億円

(前年同期比16.3%減)

売上高
構成比

22.0%

18.1%

(注) 各セグメントの売上高および経常利益はセグメント間の内部売上高または振替高を含んでいます。

Special Feature ちえの環

特集: マテリアルの知恵を活かす Vol.3

“さらなる成長への挑戦”

～3カ年の中期経営計画「16中計」の達成に向けて～

金属事業: リサイクル製錬

三井金属グループの中期経営計画「16中計」(2016年度～2018年度)では、10年後のありたい姿を見据え、「機能材料、金属、自動車部品の3事業を核に、成長商品・事業を継続的に創出可能な体制を構築する」を基本方針としています。特集「マテリアルの知恵を活かす」では、これら3事業および成長商品・事業について取り上げ、株主の皆様に分かりやすくご紹介しています。今回は金属事業における「リサイクル製錬」についてです。

事業の特徴

当社の金属事業のベースは、鉱物資源による製錬であり、鉱山から採掘される鉱石を原料として亜鉛などの有用な金属を回収しています。一方、近年、環境意識の高まりから産業廃棄物埋め立て場の新設が困難となり、また既存の産業廃棄物埋め立て場の収容能力には限界があることなどから、資源リサイクルの重要性が高まっています。

当社では一世紀以上の歴史を誇る金属製錬業で培った技術を発展させて、産業廃棄物に含まれている有価金属を回収、製品化しており、限られた資源の有効利用により循環型社会の構築にも貢献しています。

リサイクル製錬で回収された鉛地金



リサイクル原料の廃基板



リサイクル製錬拠点



電気亜鉛



POINT

様々な有価金属を回収して製品化

下の図のように様々なリサイクル原料から、亜鉛、カドミウム、鉛、ビスマス、スズ、三酸化アンチモン、銅、金、銀、白金等、様々な有価金属を回収して製品化しています。

6つの拠点の「製錬ネットワーク」を強化・活用

従来の、6つの製錬所それぞれで効率化を図っていた事業構造から大きく転換し、各製錬所が保有する設備・技術を活かすため、処理する原料の種類等により対応する製錬所を振り分け、全体的な処理効率の向上を図る体制を構築しました。各製錬所で目的の金属を回収する相互補完のネットワークを強化することで、多種多様な有価金属の回収を実現しています。

●リサイクル原料処理量の拡大
(2015年度の供用原料全体を100とした場合の値)

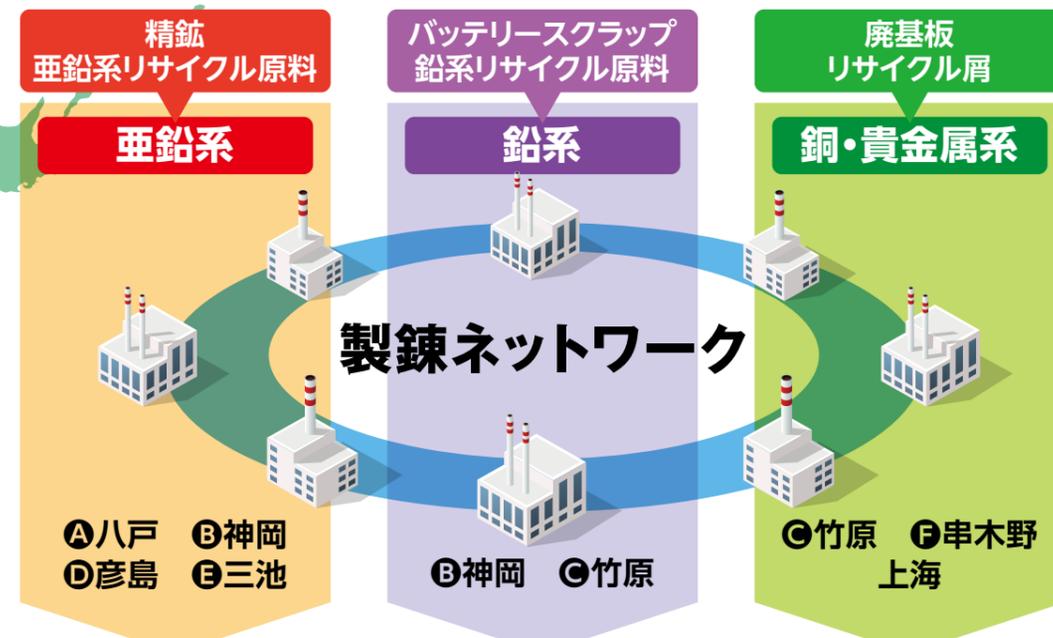


地球環境の保全に貢献しながら、新たなビジネスを創出

リサイクル製錬を核としたビジネスの確立により、新規のリサイクル原料獲得や廃棄物処理事業などの新たなビジネスも生まれています。最近では、橋の塗り替え工事で発生した亜鉛や鉛を含む塗膜くずの再資源化処理や、白金、パラジウム、ロジウム等の白金系金属を回収する技術の開発にも力を入れています。CSR経営^{※1}やESG投資^{※2}が注目されている中で、当社では、様々なリサイクル原料の処理技術を強化することを通じて、地球環境の保全に貢献してまいります。

※1 CSR経営: Corporate Social Responsibility (企業の社会的責任)。事業活動を通じて社会に貢献する企業経営

※2 ESG投資: 事業存続・持続的成長の前提となるESG (Environment=環境、Social=社会、Governance=企業統治) に対する企業の取り組み姿勢を評価して行う投資



ビスマス
はんだなど別の金属との合金や医薬品まで幅広い分野に使用



三酸化アンチモン
難燃助剤、ガラスの清澄剤 (消泡剤) 等として使用



スズ
はんだなど別の金属との合金として使用

第92期定時株主総会にて会社提案議案を承認可決

2017年6月29日午前10時より、ゲートシティホール(ゲートシティ大崎ウエストタワー地下1階)にて第92期定時株主総会を開催し、剰余金の処分、株式併合を含むすべての会社提案議案が承認可決されました。この決議により2017年10月1日付で単元株式数の変更(1,000株から100株)および株式併合(当社普通株式10株を1株に併合)*を実施しました。

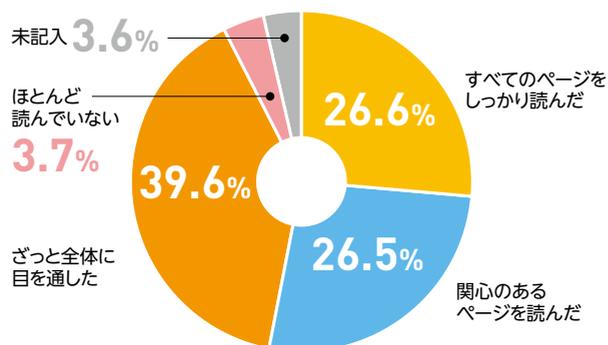
*株式併合の結果、1株未満の端数が生じた株主様につきましては、その端数株処分代金をお支払いいたします。
2017年12月初旬にお送りする「端数株処分代金領収証」により、払渡しの期間内にお近くのゆうちょ銀行、郵便局等でお受け取りください。

株主様アンケート結果のご報告

本誌「BUSINESS REPORT」第92期報告書において実施させていただきました、「株主様アンケート」では、皆様からのご回答ならびに貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。以下にアンケート結果の一部をご報告いたします。

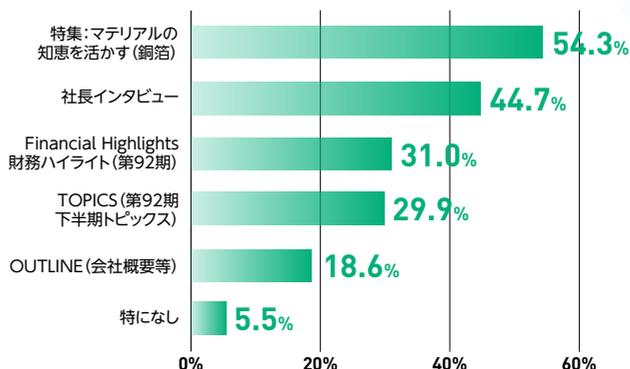
アンケート実施期間:2017年6月29日～2017年7月31日 有効回答数:2,101件(回答率5.28%)

Q1 第92期報告書について どの程度読んでいただけましたか

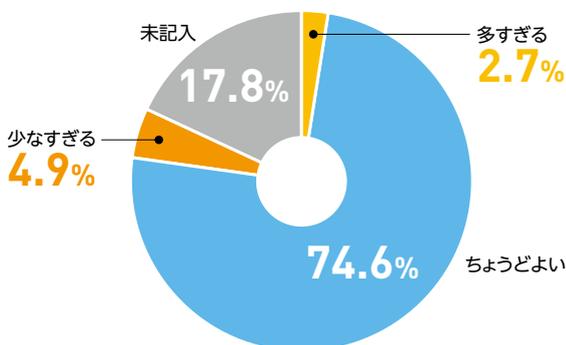


Q2 第92期報告書について どの掲載内容を中心にご覧になりましたか

【複数回答可】

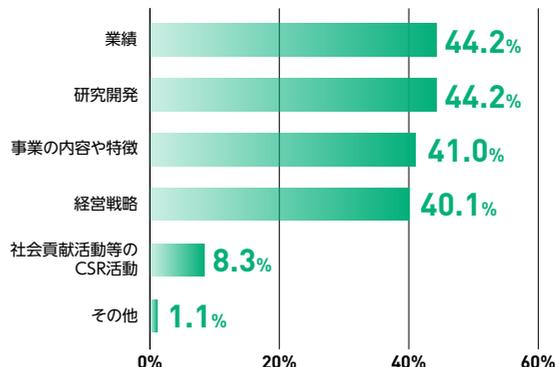


Q3 第92期報告書について 掲載内容(情報量)についてどう思われますか



Q4 今後、充実を希望する情報をお選びください

【複数回答可】



今後とも、株主の皆様からのご意見をお聞かせいただきながら、IR活動のさらなる充実や「BUSINESS REPORT」紙面の充実に向け取り組んでまいりたいと存じますので、引き続きご支援ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

OUTLINE

→ 会社概要 (2017年9月30日現在)

商号 三井金属鉱業株式会社
(Mitsui Mining & Smelting Co., Ltd.)
[呼称:三井金属/MITSUI KINZOKU]

本店 東京都品川区大崎一丁目11番1号
設立 1950年5月1日
資本金 42,129百万円

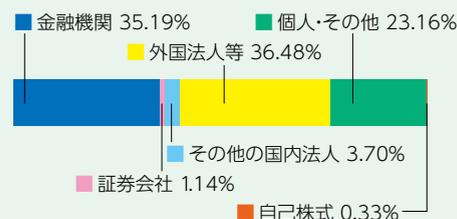
→ 株式の状況 (2017年9月30日現在)

発行可能株式総数 / 1,944,000,000株
(2017年10月1日付 株式併合後 190,000,000株)

発行済株式総数 / 572,966,166株
(2017年10月1日付 株式併合後 57,296,616株)

株主数 / 36,027名

所有者別株式分布状況



大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	59,038	10.33
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	48,307	8.45
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	13,222	2.31
三井金属社員持株会	10,776	1.88
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	10,076	1.76
STANDARD LIFE ASSURANCE LIMITED-PENSION FUNDS	8,285	1.45
CREDIT SUISSE AG, DUBLIN BRANCH MAIN EQUITY ACCOUNT	8,247	1.44
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	7,769	1.36
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口2)	7,672	1.34
JP MORGAN CHASE BANK 380634	7,277	1.27

※持株比率は自己株式(1,874,964株)を控除して計算しております。
※持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
※持株数は株式併合前の2017年9月30日現在で表示しておりますので、株式併合の影響を考慮していません。

→ 株主メモ

定時株主総会の議決権の基準日 3月31日
期末配当の基準日 3月31日
中間配当の基準日 9月30日
定時株主総会 6月下旬

株主名簿管理人・特別口座管理機関
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

ご連絡先
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
☎0120-782-031

公告の方法

電子公告とする。(http://www.mitsui-kinzoku.co.jp/)
ただし、事故その他やむをえない事由によって電子公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載して行う。

〈株式事務のお取扱い〉

- 未払配当金の支払いのお申出先
左記三井住友信託銀行にお申し出ください。
- 住所変更、単元未満株式買取等のお申出先
①証券会社の口座へ株式をお預けになられている株主様は、お取引のある証券会社にお申し出ください。
②証券会社の口座へ株式をお預けになられていない(特別口座に記録されている)株主様は、左記三井住友信託銀行にお申し出ください。

ホームページのご案内



当社ホームページでは、最新のニュースやIR情報など当社をご理解いただくための様々な情報を提供しております。

株主・投資家情報



「個人投資家の皆さまへ」では、事業内容や専門用語の解説、株式事務手続きなどの情報をまとめてご紹介しています。



三井金属

検索

<http://www.mitsui-kinzoku.co.jp/>

BUSINESS REPORT

ビジネスレポート

第93期上半期報告書
2017年4月1日 ◆ 2017年9月30日



三井金属鉱業株式会社

総務部 〒141-8584 東京都品川区大崎一丁目11番1号
TEL:03-5437-8240



環境に配慮した FSC® 認証紙と植物油インキを使用しています。